

# 「愛知県糸東会空手道選手権大会競技規程」

## (形競技)

1. 競技は赤、青のフラッグ式、トーナメント制を採用し、各コートにて決勝まで行う。
2. 幼児・小学1、2年生はベスト16まで平安二段又は三段より選出。(同じ形の連続可) ベスト8以降は平安初段～五段及び**第1、2指定形**もよいし予選で使用した形もよい。  
(1回戦から決勝まで同じ形でもよい。**最低1つの形でOK**)
3. 小学3、4年生はベスト16まで平安初段、二段、三段より選出。(同じ形の連続可) ベスト8もこれまで使用した形と平安四段、五段及び**第1、2指定形**もよい。  
但し準決勝、決勝はこれまで使用した形は使用してはならない。**(最低3つの形でOK)**
4. 小学5、6年生はベスト16までは平安四段、五段より選出。(同じ形の連続可) ベスト8もこれまで使用した形と平安初段、二段、三段及び第1、2指定形もよい。  
**(自由形可)** 但し準決勝、決勝はこれまで使用した形は使用してはならない。

## (最低3つの形でOK)

5. 中学生は1回戦は「第1指定形」。以降(3位決定戦を含む)、第1、2指定形(どちらでもよく、連続可)より選出。但し決勝はこれまで使用した形を使用してはならない。  
(自由形可) **(最低3つの形でOK)**
6. 少年・一般・シニア男女は1回戦「第1指定形」より選出。以降(3位決定戦を含む)は第1、2指定形(どちらでもよく、使用した形、連続可)とする。但し準決勝、決勝は一度使用した形を使用してはならない。(自由形可) **(最低3つの形でOK)**
7. 選手は演武する前に必ず演武する形名を記録係に伝えること。

## (組手競技)

1. 競技はトーナメント制。審判は6人制(監査役含む)。組手競技の勝敗は各クラスとも6ポイント先取とする。各コートで決勝まで行う。
2. ポイントの参考例は、突き技が上・中段とも1ポイント。蹴り技は中段が2ポイント、上段が3ポイント。相手を足払い等で倒した技からの突き技は3ポイント。
3. 競技時間については幼児・小学生・シニアが予選～決勝戦まで1分間フルタイム、中学生以上については男女共予選～決勝まで1分30秒のフルタイムとする。
4. 小学3年男子以上はフェールカップ装着義務。なお各クラス、インステップ・シンガードの着用は任意。**一般男子、女子は素面にてマウスピース着用。インステップ・シンガード、ボディプロテクター着用。(シニア男女はこの限りではなく、メンホー着用)**
5. 本大会では10カウントルールは採用しない。
6. カテゴリー1、2の反則について審判員は厳しく対処し、事故の未然防止に心がける。

※各競技の判定はコート長および主審に一任し、判定についての抗議等は一切認めない。

## (ゼッケンについて)

以下の要領で作成ください。各クラスの記載は実施要項掲載種目でお願ひします。記載例は次の通り。「シニア男子1部」「シニア女子1部」「一般男子(軽)」(※形の場合は「一般男子」)でよい。両方出場または組手のみの場合、先述した要領で記載「中学生1年男子」、「中学生2・3年男子」(※形の場合は「中学生男子」)でよい。両方出場又は組手のみの場合、先述した要領で記載)。1種目のみは中央に種目記載。**※種目番号でなく、種目「形、組手」と記入下さい。**

			「台紙：白布 縦15cm、横20cm」
		小6男子	→ クラス：黒字
形,赤字←	形	組手	→ 組手,黒字
		糸東 太郎	→ 名前：黒字